

第6回 本, 書店, 図書館にまつわる  
エピソード大賞

優秀賞

# 私が書店へ足を運ぶ訳

いのうえ  
井上 たえさん

私は薬を通じて患者さんに関わる仕事をしている。

仕事に行き詰まった時、私は書店へ足を運ぶ。知識不足の時  
には専門書を、そして患者さんへどう声かけをしたら良いのか悩  
んだ時にはその疾患と戦っている方の書いた本を手にする。

読み進めていくと、私のモヤモヤは少しずつクリアになっていく。

そうやって本を選んでいると、私と同じように医療系コーナーに  
本を探しにやってくる人がいる。職種は違っていても目的は一  
緒。患者さんに良い医療を提供するために頑張る仲間だ。そん  
な人からも勇気をもらえる。

病気との戦いは薬以外にも沢山ある。患者さんの心の持ち方  
も患者さんの数ほど沢山ある。

書店には、病気に怯えず自分らしく生きるヒントがある。

これからも私のモヤモヤは定期的に現れてくるはずだ。そしてそ  
のたびに私はこれからも書店に足を運ぶだろう。